

日本介護福祉士養成施設協会編 介護福祉士養成テキスト

第1巻 人間の尊厳と自立／社会の理解

第2巻 介護の基本／介護過程

第3巻 コミュニケーション技術／生活支援技術Ⅰ・Ⅱ

第4巻 医療的ケア

第5巻 発達と老化の理解／認知症の理解／障害の理解／
こころとからだのしくみ

全5巻

本テキストの特徴

- 1 1850時間のカリキュラムをベースに記述。「学習目標」と「キーワード」、「確認コーナー（練習問題）」と「参考文献」を掲げ、学習の便をはかる。
- 2 ICFの視点に沿って、3つの領域（「人間と社会」「介護」「こころとからだのしくみ」）、各領域と医療的ケアをつなぎ、実践を支える理論を展開する。
- 3 介護福祉士の専門性を確認し、考える介護福祉士をめざす。
- 4 生涯読み返せる・自学自習ができる・介護福祉士国家試験合格水準の内容。
- 5 相互参照に留意し、1つの領域を1～2冊で学べる。

刊行の辞

公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会（略称：介養協）は、体系的な介護福祉学の理論に基づく高い専門性と実践力を備え、職業能力の高い国家資格の介護福祉士を養成する厚生労働省指定養成施設（専門学校・短期大学・大学）の全国団体で1989年に設立されました。介護サービス利用者の尊厳を守り、質の高いサービス提供を目指し、国民の期待に応えるべく、常に時代に対応した良き介護福祉士の養成を求めて、教員研修会等の様々な活動を行っています。

この度、当協会では、専門性の高い介護の知識と技術を持った介護福祉士を養成する目的をもって、介護の教育現場（理論と実践）を熟知した教員による新カリキュラム（医療的ケア含む）を基本とした、新しい時代に対応した本格的な介護福祉士養成のテキストを刊行する運びとなりました。

このテキストは、介護サービスの基本をチームケア（多職種協働）とし、ICF（国際生活機能分類）の視点で、介護福祉士として必要な知識と技術について、体系的にわかりやすい解説を心がけて編集されています。

また、介護の初心者から、介護を専門的に学ぶ人まで、それぞれの立場に配慮し、介護の高度な専門性を求めてエビデンス（科学的な根拠）に基づいた実践力と専門性を学び、広い視野から実践的・科学的な介護過程が展開できる専門職として「考える介護福祉士」を養成することを目指したテキストに構成されています。

このテキストが、介護を学ぶ学生・実務者・教員等に広く活用されることを心より祈念申し上げます。

（公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会 会長 小林光俊）

【申し込み先】

公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-6-14 三久ビル7階
TEL. 03-5512-4745 FAX. 03-5512-4746 【ホームページ】<http://www.kaiyokyo.net/>

※HPからもお申し込みいただけます。

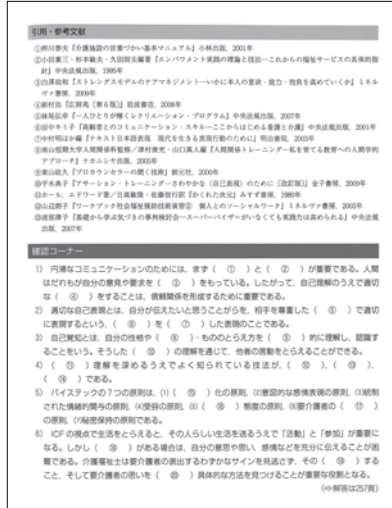
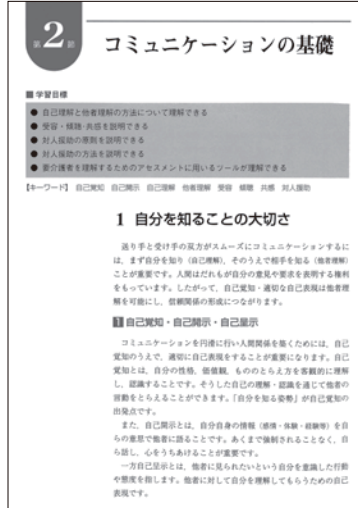
第1巻

人間の尊厳と自立／社会の理解

編者：田中博一・小坂淳子

要介護者を取りまく状況をわかりやすく解説

- 身近な事例から人間の多面性を理解し、尊厳と自立を基軸にした関わりの基本を学ぶ。
- 家族・地域から現代社会の特徴を押さえ、介護に関わる諸制度の基本的知識を学ぶ。



B5判・272頁・頒価(税込)3,620円

目次

第1章 人間の尊厳と自立

第1節 人間理解と尊厳

- 1 人間の多面的理解
- 2 人間の尊厳

第2節 介護における自立と尊厳の保持

- 1 介護における尊厳の保持
- 2 介護と自立・自律
- 3 人間の尊厳と自立の実践者

第2章 人間関係とコミュニケーション

第1節 人間関係の形成

- 1 人間関係とコミュニケーション
- 2 双方向性をもつコミュニケーション
- 3 距離のとり方

第2節 コミュニケーションの基礎

- 1 自分を知ることの大切さ
- 2 他者理解の大切さ
- 3 対人援助の実践

第3章 社会の理解Ⅰ：家族・地域

第1節 現代家族とは何か

- 1 現代家族の特徴
- 2 家族の機能と役割の変化
- 3 ライフサイクルの変化
- 4 扶養と介護

第2節 変貌する地域社会

- 1 生活の場としての地域
- 2 一人暮らし高齢者の生活
- 3 高齢者の社会的孤立がもたらす問題
- 4 地域における「つながり」の再構築
- 5 社会福祉を実施する民間の機関や団体
- 6 当事者組織

第4章 社会の理解Ⅱ：社会保障制度

第1節 わが国の社会保障制度の発展

- 1 社会保障とは何か
- 2 戦後日本における社会保障のおもな流れ
- 3 社会保障制度の法体系
- 4 社会保障と財政

第2節 介護保険法

- 1 介護保険制度の背景と目的
- 2 介護保険制度のしくみ
- 3 介護保険サービスの種類と特徴
- 4 介護保険制度の組織と専門職の役割

第3節 障害者総合支援法

- 1 障害者総合支援法における福祉サービス体系
- 2 申請から支給決定までの手続き
- 3 利用者負担

第4節 介護実践に関わる諸制度

- 1 個人の権利を守る制度
- 2 保健医療制度
- 3 公的年金制度

介護福祉学を体系的に解説・展開

- 考え方の基盤と具体的援助方法＝介護過程の展開のための知識・技術を学ぶ。
■ 展開シートの活用で、事例を基に計画立案から実践・評価までを考える。

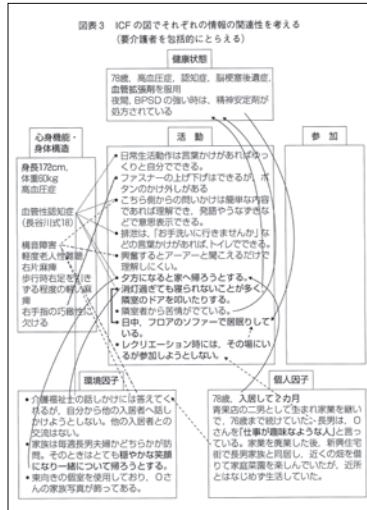


Table 4: Common situations in the workplace. A table with 3 columns: Basic Action, Professional Concept-based Action, and Individualized Care/Target Achievement. It lists actions like 'moving to the toilet' and 'washing hands' with corresponding professional concepts and individualized care points.

B5判・300頁・頒価(税込)3,620円

目次

【I部 介護の基本】

第1章 介護の基本 I

- 第1節 介護とは何か
1 介護について 2 目的
3 基本的な考え方 4 介護の社会化：介護の歴史的変遷
第2節 介護とケア
1 介護とケア 2 介護福祉の意味するもの
3 ケアにおけるパターナリズム
4 介護福祉士に求められる職業倫理
第3節 介護の理念：尊厳を支える介護
1 QOL(生活の質)の向上と自立支援
2 リハビリテーションの活用
3 ノーマライゼーションの実現
第4節 介護福祉士の役割と機能
1 現状と養成 2 役割と機能

第2章 介護の基本 II

- 第1節 介護を必要とする人と生活の理解
1 生活とは何か 2 ライフサイクル
3 生活福祉の視点
4 ICFの視点で「生活」をとらえる
第2節 要介護者を支える生活支援技術
1 介護技術と生活支援技術
2 生活支援技術と介護過程
3 どのように生活評価を考えるか
第3節 身体拘束と虐待
1 身体拘束はなぜ問題なのか
2 高齢者虐待の現状と課題
3 虐待を起ささないために
第4節 リスクマネジメントと介護従事者の安全
1 リスクマネジメント 2 介護事故とリスク
3 事故を防ぐために 4 質の高い安全な介護

【II部 介護過程】

第3章 介護過程 I：理論編

- 第1節 介護過程の意義と目的
1 介護過程とは何か
2 介護過程の意義と目的
3 介護過程に沿った個別援助の必要性
第2節 問題解決過程
1 問題解決過程とは
2 問題解決の基本ステップ
3 論理的思考方法
第3節 隣接領域で用いられている諸理論
1 実践の科学としての共通性
2 看護領域 3 社会福祉領域
第4節 介護福祉士とチームアプローチ
1 チームアプローチと介護福祉士の役割
2 ケア会議の意義 3 ケアプランと介護計画
第5節 情報と観察
1 情報について 2 観察
3 ICF視点からの情報の種類と観察点
4 情報の読み取り方とそのポイント
第6節 介護過程の展開
1 介護過程の構成要素 2 アセスメントと生活課題
3 介護計画の立案 4 介護計画の実施・評価

第4章 介護過程 II：実践編

- 第1節 介護過程展開シートの活用
1 シートの構成と概要
2 介護過程展開シートの全体像と「思考の流れ」
3 各シートの使い方
第2節 事例による介護過程の学習
1 介護計画と立案と実践・評価までの事例
2 演習編(実際に事例を展開してみましょう)

資料：介護過程展開シート

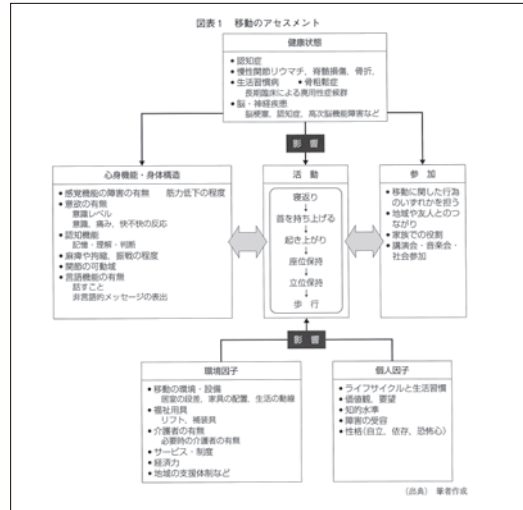
第3巻

コミュニケーション技術／生活支援技術I・II

編者：中村明美・岩井恵子・井上千津子

ICFの視点で、知識と技術を論理的・体系的に解説

- 心身の状況に応じたコミュニケーションの基本を理解する。
- ICFの視点でアセスメントができ、「考える生活支援技術」をめざす。



B5判・260頁・頒価(税込)3,570円

目次

第1章 コミュニケーション技術

第1節 介護におけるコミュニケーションの基礎

- 1 目的
- 2 しぐみ
- 3 実際
- 4 グループでのコミュニケーション・なかまづくり

第2節 利用者の特性に応じたコミュニケーション技法の実際

- 1 認知症の人
- 2 視覚障害のある人
- 3 聴覚障害のある人
- 4 失語症の人
- 5 精神障害のある人
- 6 知的障害のある人
- 7 福祉用具を用いたコミュニケーション

第3節 多職種連携に必要なコミュニケーション

- 1 記録における情報の共有化
- 2 報告
- 3 会議

第2章 生活支援技術 I

第1節 生活の理解とその支援

- 1 生活とは
- 2 自立に向けた生活支援
- 3 生活支援を行う技術

第2節 移動の支援技術

- 1 意義と目的
- 2 ICFの視点でアセスメントする
- 3 必要な知識
- 4 移動の介護技術
- 5 移動の介護と福祉用具

第3節 食事の支援技術

- 1 意義と目的
- 2 ICFの視点でアセスメントする
- 3 必要な知識
- 4 食事の介護技術
- 5 多職種との連携

第4節 排泄の支援技術

- 1 意義と目的
- 2 ICFの視点でアセスメントする
- 3 排泄の介護技術
- 4 多職種との連携

第5節 身じたくの支援技術

- 1 意義と目的
- 2 ICFの視点でアセスメントする
- 3 身じたくの介護の実際
- 4 多職種との連携

第6節 清潔・入浴の支援技術

- 1 意義と目的
- 2 ICFの視点でアセスメントする
- 3 清潔の介護の実際
- 4 多職種との連携
- 5 感染予防

第3章 生活支援技術 II

第1節 居住環境の整備

- 1 意義と目的
- 2 ICFの視点でアセスメントする
- 3 住宅における居住環境整備の留意点
- 4 集住での居住環境整備の留意点
- 5 バリアフリーとユニバーサルデザインを踏まえた居住環境

第2節 家事の支援技術

- 1 意義と目的
- 2 ICFの視点でアセスメントする
- 3 家事に参加するための介護
- 4 心身機能の低下による家事へのリスクと支援技術
- 5 多職種との連携

第3節 睡眠の支援技術

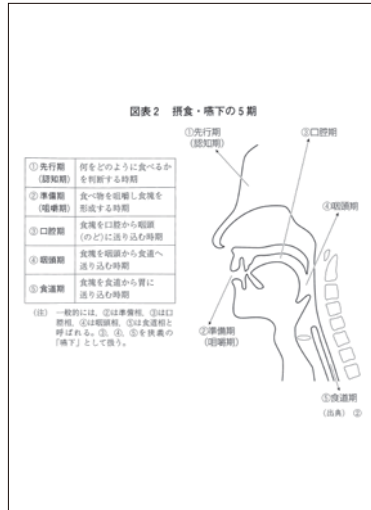
- 1 意義と目的
- 2 睡眠の理解
- 3 ICFの視点でアセスメントする
- 4 睡眠を阻害する因子を見いだす
- 5 安眠のための介護の実践
- 6 多職種との連携
- 7 事例

第4節 ターミナルケア

- 1 ターミナル：その状況
- 2 命の流れと介護
- 3 ターミナルのプロセスにおける介護職の役割
- 4 家族に対する支援
- 5 グリーフケア

介護福祉士に新たに加わった医行為を分かりやすく解説

- 医行為の定義と医行為に関わる問題の本質と各医行為の内容と手技・リスク対応。
- 医行為ではないが限りなく医行為に近い11項目に関する知識と技術についても学ぶ。



B5判・147頁・頒価 (税込) 2,620円

目次

第1章 医療的ケアとは

第1節 医療的行為とは何か

- 1 司法判断
- 2 行政判断

第2節 「喀痰吸引等」の医療的ケア

- 1 「喀痰吸引等」の法定化
- 2 「喀痰吸引等」制度の概要
- 3 「喀痰吸引等」に係る連携

第3節 医療過誤と無資格者による医業

- 1 医療過誤
- 2 無資格者が医行為を行った場合

第4節 医療行為に関わる問題の本質

- 1 問題の本質
- 2 合理的解決策

第2章 吸引・経管栄養

第1節 口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内部の吸引

- 1 口腔内吸引
- 2 鼻腔内吸引
- 3 気管カニューレ内部の吸引

第2節 経管栄養

- 1 消化器官系のしくみと働き
- 2 経管栄養法とは
- 3 経管栄養法の技術と実際
- 4 経管栄養によって生じる危険と対処
- 5 経管栄養による感染症とその予防

第3章 医療的生活支援技術

第1節 バイタルサインとパルスオキシメータの測定

- 1 体温
- 2 脈拍
- 3 呼吸
- 4 血圧
- 5 パルスオキシメータ

第2節 創傷の処置とガーゼ交換

- 1 創傷部の処置の目的
- 2 ガーゼ交換の目的
- 3 清潔操作
- 4 創傷処置、ガーゼ交換の実際
- 5 医師の判断を伴うガーゼ交換
- 6 考えられるリスクと医療職との連携

第3節 服薬に関する支援

- 1 意義
- 2 薬の理解
- 3 与薬の支援
- 4 グリセリン浣腸・坐薬の支援
- 5 職種間の役割と連携

第4節 清潔に関する支援

- 1 爪切り
- 2 口腔ケア
- 3 耳垢の除去

第5節 排泄に関する支援

- 1 パウチにたまった排泄物の除去
- 2 自己導尿

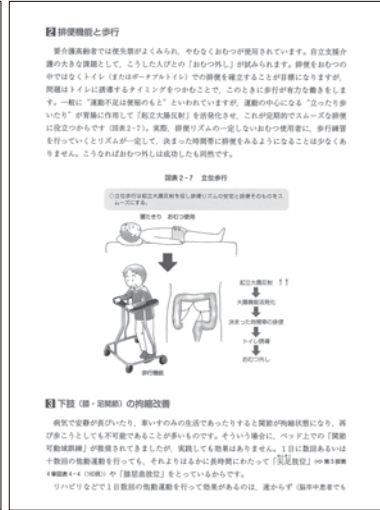
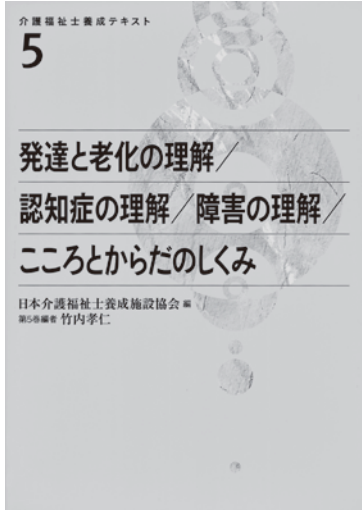
第5巻

発達と老化の理解／認知症の理解／障害の理解／こころとからだのしくみ

編者：竹内孝仁

介護が必要となる背景を知り自立支援介護の基礎知識・理論・技術を解説

- 発達を規定する要因、しくみ、認知症のさまざまな症状、原因、疾患を理解し学ぶ。
- 障害者への自立支援の考え方を理解、からだの構成と細胞の生きるしくみを学ぶ。



B5判・345頁・頒価(税込)4,750円

目次

【第1部 発達と老化の理解】

- 第1章 人間の成長と発達
- 第2章 老年期の発達
- 第3章 老化にともなう心身の変化と日常生活
- 第4章 高齢者と健康

【第2部 認知症の理解】

- 第1章 認知症を取り巻く状況
- 第2章 医学的側面からみた認知症
- 第3章 認知症の人に対するケア
- 第4章 家族への支援
- 第5章 先進的な行政の試み

【第3部 障害の理解】

- 第1章 障害の基礎的理解
- 第2章 障害のある人の心理
- 第3章 障害者介護の視点
- 第4章 身体障害の理解と介護
- 第5章 知的障害の理解と介護
- 第6章 発達障害の理解と介護
- 第7章 精神障害の理解と介護

第8章 難病の理解と介護

- 第9章 家族への支援
- 第10章 連携と協働

【第4部 こころとからだのしくみ】

- 第1章 こころとからだのしくみの理解
- 第2章 移動に関連したこころとからだのしくみ
- 第3章 食事に関連したこころとからだのしくみ
- 第4章 排泄に関連したこころとからだのしくみ
- 第5章 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみ
- 第6章 身じたくに関連したこころとからだのしくみ
- 第7章 睡眠に関連したこころとからだのしくみ
- 第8章 死にゆく人のこころとからだのしくみ
- 第9章 生活場面におけるこころとからだの変化